

消費され、新潟県は深刻なリスクを負うことである。私はこの件で、新潟県は軽く低く見られていると思う。

孫やひ孫の代でも、何十年、100年くらいも原発の脅威と向き合っていないかなければならない不安やリスクを考えると、この際、再稼働はしないことになって、できれば廃炉にしてほしいと考えるが市の見解を伺う。

国や県が行っている各種の検証の結果や地域経済への影響などを踏まえて、県知事が総合的に判断するものと捉えている。

県民投票について、民意がはっきりするので実施すべきと考えるが市の見解を伺う。

署名活動の結果やその後の県議会の結果なども踏まえて、県知事が総合的に判断するものと捉えている。

大面地区のイノシシ対策について

イノシシが主に耕作放棄された畑や田んぼを掘り返しているが、その対策について市の見解を伺う。

地球温暖化などで生息域が拡大している。猟友会と連携して捕獲活動の強化を進めるとともに、地域が行う電気柵の整備等への補助などを引き続き行っていく。

市長会を通じ、国に持続的安定的な運営のため財政措置の拡充を求めた。

市が介護職員の人手不足を認識しているなら、介護の担い手確保として、他自治体で行っている賃金アップにつながる金銭的な独自支援をどうするか。

介護人材確保は重要な課題だ。事業所職員の離職防止と業務改善効率化等の対策を進めていく。

働きやすい消防署、分遣所の環境整備について

消防庁舎は築50年を超え老朽化している。内部も含め環境整備を進めるべきではないか。

老朽化しているが、必要な改修はしており消防拠点としての機能に問題ない。



藤家 貴之 議員の質問

豪雪地域における防災、減災対策の強化について

高齢者世帯における屋根の雪下ろし支援の現状と課題について伺う。今年度から社会福祉協議会が除雪



イノシシに掘り返された耕作放棄地(矢田地内)



酒井 健 議員の質問

令和7年度予算

物価高騰・人件費増加の影響を伺う。

経常経費の増加傾向は継続すると捉え、これまで以上に事業の見直しに取り組み、予算編成を行う。

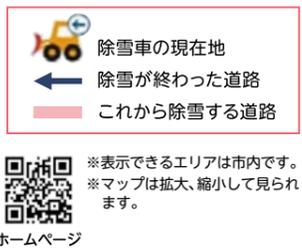
いわゆる「年収103万円の壁」見直しの影響を伺う。

総務省が11月初旬に示した試算結果と同様に試算すると、個人市民税で約15億円の減収となる。

ボランティアを開始している。屋根の雪下ろしは、危険性が高いことから実施しない。

除雪作業の効率化に向けた新技術の導入について伺う。

今後の開発動向や他市町村の導入実績等を注視し判断する。



現在三条市が運用している除雪情報提供システム

雪害に強いインフラ整備と都市計画について伺う。

無電柱化は主に景観形成の効果が大きい地域等で実施されており、多額の費用を要するため取り組み予定はない。

八十里越開通

立ち寄りスポットの整備について伺う。

開通までの設置完了を目指し、国、県と協議していく。

いい湯らていリニューアルの進捗を伺う。

基本計画案策定に向け検討中。宿泊施設は考えていない。

屋根雪下ろしの安全確保

集会施設等への命綱固定アンカーの設置補助について伺う。

集会施設建設等支援の中に命綱固定アンカーの設置も対象となるよう要綱の改正を進めている。

米の安定供給

農業機械等導入補助金に農舎整備を対象とはどうか。

対象とする考えはない。

来年4月以降の農地賃貸契約事務について伺う。

利用権設定に係る事務は農林課および農業委員会で行う予定。今年度中に必要な準備を行う。

市が所管する屋外広告物等の管理

譲渡や寄附された屋外広告物の建て替え、撤去の経費負担等について伺う。

建て替え、撤去に係る費用、倒壊や落下等による被害の責任は市が担う。



武藤 元美 議員の質問

多様な働き方に対応した子育て支援について

日曜日出勤の場合、子どもを預ける場所がないと相談を受けた。ファミリーサポートセンターを設置し、支援の選択肢を増やしてはどうか。

当市では、民間の子育て支援団体による同様のサービスが提供されている。より利用しやすいサービスに向け、利用料金を含め検討を進めている。

訪問介護報酬引き下げによる事業所の運営について

国は在宅高齢者の生活を支えるヘルパーの介護報酬を引き下げた。全国で介護事業所の倒産が過去最多を更新。県内も危機的状況だ。報酬改定の見直し、報酬引き下げの撤回を国に求

うか。

検討委員会はこれまで2回開催し、委員から、子どもたちの将来の学習などを見据えた積極的な意見をいただいている。

検討委員会の結論が出た後は、議論の結果を共有する懇談会などの場を設け、問題意識をさらに深めるとともに、教育委員会において統廃合の是非についての方針を定め、具体的な内容を検討していく。

スクールバスの運行はどうか。

スクールバス運行は遠隔地からの通学手段を確保するだけでなく、安全に通学できるという観点に立ち、環境を確保していく。

有害鳥獣の捕獲および被害防止対策について

有害鳥獣による農作物の被害が増大傾向にあり、三条市の猟友会員が減少する中、効果的な有害鳥獣の捕獲および被害防止の一環として、地区別から三条市全体での体制にできないのか。また、被害防止計画の策定はどうか。狩猟期間の延長はできるのか。

猟友会については、状況に応じた協力体制にある。また、計画は、令和5年度から3年を期間としており、被害状況に応じた見直しは令和7年度に行う予定はない。狩猟期間は市には権限移

小学校の統廃合について

未来の学校検討委員会の進捗状況、また今後のスケジュールはど



武石 栄二 議員の質問

不登校児童生徒支援員を増員し体制強化を図っている。

対応強化とフリースクール支援について伺う。

フリースクールとの連携は極めて重要と捉え、充実に努める。

不登校問題への対応強化とフリースクール支援について

不登校児童生徒支援員を増員し体制強化を図っている。

対応強化とフリースクール支援について伺う。

フリースクールとの連携は極めて重要と捉え、充実に努める。

不登校児童生徒支援員を増員し体制強化を図っている。

対応強化とフリースクール支援について伺う。

フリースクールとの連携は極めて重要と捉え、充実に努める。

小学校の統廃合について

未来の学校検討委員会の進捗状況、また今後のスケジュールはど